事業所における自己評価結果（公表）

事業所名　NPO法人SUN-Tatebayashi　ぽっこクラブ２

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	0	・セッションの人数によって部屋を変える工夫をしています。また、必要に応じてレイアウトを変えています。
	2	職員の配置数は適切であるか	6	0	・セッションの状況に応じて、職員を配置しています。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	6	0	・床はバリアフリーになっています。利用児・保護者の特性等に合わせた環境整備をしています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	6	0	・セッション終了後に消毒や換気を行っています。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	6	0	・セッション終了後に必ず振り返りを行っています。 また、必要に応じて事例検討を行い全員で話し合う機会を設けています。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6	0	・職員間での共有、協議、検討を行い、必要な改善に取り組んでいます。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	0	・ホームページ上に公開し、保護者にも周知しています。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	3	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	0	・外部講師による講義、コンサルテーション、事例検討会等スキルアップ研修を行っています。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	6	0	
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	0	Vineland II を行っています。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	6	0	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	6	0	・常に目標を確認し、記録できるように記録用紙を作成し、使用しています。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	0	・セッション担当の職員で話し合い毎回の活動計画を立案しています。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	0	・季節に応じた活動を取り入れるなど固定化しないよう工夫しています。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	6	0	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	0	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6	0	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	0	

	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	6	0	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4	1	招集があれば、利用児の担当者また必要に応じて管理者等も参画しています。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	5	0	
	23	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合） 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	―	―	現在、対象となる方の利用はありません。必要に応じて連携を図る予定です。
	24	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合） 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	―	―	現在、対象となる方の利用はありません。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	3	0	・保育園幼稚園等と併用されている方がほとんどであるため、機会が少ないですが必要に応じて情報共有や相互理解を行っています。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5	0	・個別に移行支援に必要な情報内容の文書をまとめ作成しています。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	2	・発達障害者支援センターの研修を受講するようにしています。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	3	・事業所で機会をつくっていませんが、ほとんどの方が保育園・幼稚園等に通われています。
	29	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	4	1	・定期的に行われる自立支援協議会に参加しています。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	0	・保護者担当がセッションの様子の振り返りを伝えています。併せて家庭での様子の聞き共通理解をはかっています。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）の支援を行っているか	6	0	・ペアレントトレーニング、行動の問題、コミュニケーション（PECS）、スケジュール（視覚支援）について実施しました。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	0	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	6	0	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	0	・茶話会や保護者勉強会（年４回）を行っています。 ・事業所内相談を活用し、定期的に相談に応じています。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5	1	・保護者勉強会を年４回開催し、保護者同士の交流の場を設けています。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	0	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	1	・会報の発行はしていませんが、活動予定（勉強会、特別活動等）は保護者に事前に周知しています。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	6	0	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	0	・必要に応じてメモや資料を渡す等配慮しています。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	5	・コロナ禍の為

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	6	0	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6	0	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	6	0	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6	0	アレルギーの管理については主治医からのアレルギー疾患生活管理指導表を用いて管理を行っています。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	0	・実際にあった事例を通して行っています。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	0	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	6	0	・必要に応じて委員会を設置し、対応について協議するとともに、保護者との情報共有を行っています。